

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ Career Development Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	南本 和幸
		授業形態	講義			
学科	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2			
講師紹介	美容業界に従事してきた教員が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験					
教科書						
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・他己紹介	相手をよく知り、クラスの仲間に紹介することでより良いクラス作りをする
2	就職対策①	ヘアメイク業界を知り、就職活動がスムーズに行えるようになる
3	就職対策②	面接の基本やポイントを知る
4	模擬面接対策①	模擬面接会に向けての練習を行う
5	模擬面接対策②	模擬面接会に向けての練習を行う
6	模擬面接振り返り	模擬面接を終えての振り返りを行い、今後の就職活動をどう行っていくかを考える。
7	中間試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる
8	グループディスカッション	スポフェスに向けて、出場種目、クラス衣装を決定
9	コンテスト対策	コンテストに向けて感性を磨き、オリジナリティのある先品が作れるようになる
10	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる
11	社会人基礎力を身につける①	社会人としての言葉使いを覚える。敬語・丁寧語、を正しく学ぶ。
12	社会人基礎力を身につける②	相手に伝わる『伝え方』を身につける
13	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇に向けて準備しておきたい項目を理解する 夏休みの課題について
14	社会人基礎力を身につける③	認知特性を使って自分の得意なことを知る。得意なことをどのように強みに変えていくかを考える。
15	定期試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる

科目名 (英)	ヘアメイクⅡ hair&makeⅡ	年次	2	実務経験	担当	足立 祐希
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	月曜日1、2限 3、4限
講師紹介	現役ヘアメイクアップアーティストで様々な現場を経験、セットサロンの経営。					
目的 科目概要	現場目線で実際に現場でオーダーの多い和装や地毛で結う花嫁向けの新日本髪を学ぶ。					
到達目標	逆毛のスキルをマスターし、すき毛と併用して美しい面のスタイルが作れるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験    ■ 実技試験    □ 作品    □ 提出課題					
教科書	なし	事前事後 学習と その内容	授業中はしっかりメモをとり必ず復習をすること。			
教材	ヘア教材					
特記事項	右記記載。メモを取り復習すること。					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	盛りまきおろし	髪を大きく盛るプロセスを学ぶ
2	分け目盛り巻きおろし	スジを美しく作るプロセスを学ぶ
3	編み込み団子	編み込みを併用した髪型を学ぶ
4	カールツインテール	根本の見えない盛り髪ツインを学ぶ
5	カールサイド	カールサイドの基本プロセスと層にするスジを学ぶ
6	カールサイドハーフ	定期試験に向けて美しいシルエットのサイドハーフを学ぶ
7	中間試験(カールサイドハーフ)	30分間で美しいサイドハーフを学ぶ
8	ストレートサイド	ストレートヘアでの逆毛を強化する
9	ストレートハーフ	美しい丸いシルエットで毛流れや方向を学ぶ
10	カールアップ	カールアップのプロセスを学ぶ
11	カールハーフ	毛のつながりを学ぶ
12	カールモヒカン	シルエット、理論を学ぶ
13	自由作品デッサンシートの作成	自由作品に向けてデッサンシートを作成し、練習をする
14	期末試験	期末試験30分
15	自由作品	平成盛り髪ギャルを作り作品撮りをする

科目名 (英)	スチールヘアメイクⅡ Still Hair MakeⅡ	年次	2	実務経験	担当	固本
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	動画・スチール撮影など幅広い現場でヘアメイクを担当している現役のヘアメイク教員が今、現場で必要とされる知識や技術を分かりやすくレクチャーする。					
目的 科目概要	年代別の歴史やトレンドを学ぶ、またテーマ合わせたヘアメイクを自分で考えてヘアメイクに落とし込むことができるようになる。作品撮影をして自分の作品を残すことを目的とする。					
到達目標	テーマに合わせて自分でヘアメイクのデザインを考え、作品に落とし込むことができるようになる。 プロカメラマンによりオリジナルの作品を残す。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験    ■ 実技試験    ■ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	デザイン画のプリント配布					
特記事項	なし					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	1950年代トレンド	50年代(オードリー・ヘップバーン)をアレンジしたデザイン&実技
2	1960年代トレンド	60年代(ツイッギー)をアレンジしたデザイン&実技
3	1980年代トレンド	80年代をアレンジしたデザイン&実技
4	1990年代トレンド	90年代をアレンジしたデザイン&実技
5	中間試験対策	中間試験に向けた準備・対策授業
6	中間試験①	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
7	中間試験②	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)
8	テーマ 春夏秋冬【春】	日本の季節【春】を表現するヘアメイクを考え表現する
9	テーマ 春夏秋冬【夏】	日本の季節【夏】を表現するヘアメイクを考え表現する
10	テーマ 春夏秋冬【秋】	日本の季節【秋】を表現するヘアメイクを考え表現する
11	テーマ 春夏秋冬【冬】	日本の季節【冬】を表現するヘアメイクを考え表現する
12	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業
13	定期試験①	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
14	定期試験②	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)
15	定期試験振り返り	定期試験を振り返る 後期に向けて準備・対策

科目名	ブライダルヘアメイク		年次	2	実務経験	担当	高岸	
	(英)	Bridal hair and makeup	授業形態	演習				
学科		ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期	
講師紹介	20年以上のキャリアを持ち、メイク・ヘアセット・特殊メイクまで幅広く手がける。化粧品メーカーのインストラクター、美容スクール講師を経て30歳で独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍。クリエイター系の株式会社の経営やコスプレ関連事業にも携わり、国内外で活動の幅を広げている。						曜日・時間	火1.2.3.4
目的 科目概要	ブライダルの現場で求められるヘアメイク技術を学ぶ授業。 前半では花嫁の基本ヘアスタイル技術を習得し、後半ではブライダルメイク技術を学ぶ。最終的にはドレスやコンセプトに合わせたトータルヘアメイクデザインを制作できるようになることを目標とする。							
到達目標	<input type="checkbox"/> ブライダルヘアスタイルの基本技術を習得する <input type="checkbox"/> 花嫁メイクの基本技術を理解する <input type="checkbox"/> ドレスやコンセプトに合わせたヘアメイクデザインを提案できるようになる <input type="checkbox"/> ブライダル現場に必要なトータルコーディネート力を身につける							
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験							
教科書	BASIC MAKEUP		事前事後 学習と その内容	メイクルック画像をたくさん検索したり、目を肥やすために色々な作品を見て自分のものにする努力をする。				
教材	メイク道具一式							
特記事項	実技の授業なので、エプロンと名札着用で臨む。							

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ガイダンス・基礎技術チェック	内容)ブライダルヘアメイクの仕事、花嫁スタイルの種類 実習)基礎巻き、簡単なアレンジ
2	巻き髪ベース	内容)ホットカーラー、カールの作り方 実習)巻き髪ベース作り/引き出しの練習
3	アップスタイル基礎	内容)逆毛、ピンワーク 実習)シニヨンスタイルアップ
4	シニヨンスタイル	内容)ブライダル定番スタイル 実習)ローシニヨン
5	編み込みヘア	内容)編み込み、三つ編み 実習)編み込みアップ
6	ハーフアップ	内容)フェミニンスタイル 実習)ハーフアップ/ハーフツイン
7	中間試験	テーマ「クラシカルブライダルヘア」 内容)アップスタイル制作
8	ブライダルメイク基礎	内容)花嫁メイクの特徴、ベースメイク 実習)ブライダルベースメイク
9	アイメイク	内容)写真映える目元、つけまつげ 実習)ブライダルアイメイク
10	チーク・リップ	内容)立体感メイク、血色感 実習)花嫁フルメイク
11	ナチュラルブライダルメイク	内容)清楚系メイク 実習)ナチュラル花嫁メイク
12	華やかブライダルメイク	内容)披露宴メイク、ドレスに合わせたメイク 実習)華やかメイク
13	トータルヘアメイクデザイン	内容)ドレスとヘアメイクのバランス 実習)トータルスタイル制作
14	検定対策	ヘアメイク総合練習
15	定期試験	「ブライダルトータルヘアメイク」

科目名 (英)	特殊メイク Special Effect Make up	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	金3～4
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではヘアメイクに必要な特殊メイクに関する専門的な技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:ヘアメイクとして幅広いメイクアップの表現力を身につける。 科目概要:TV・映画で必要な特殊なメイクを学ぶ、クリエイティブなメイク表現を学ぶ。					
到達目標	TV・映画で必要な特殊なメイクを習得できる。、クリエイティブなメイク表現を理解することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。					
教科書	適宜参考画像・動画など資料用意します。		事前事後 学習と その内容 前もって参考になる画像などをリサーチしておくこと。手順が特殊なので何度か実践いつでも再現できるようにしておくこと。			
教材	メイク教材と学校準備の共有教材					
特記事項	手順が特殊なのでしっかりとメモを取ること。					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	あざメイク／傷メイク①／火傷メイク①	アザ初日 アザ初目 アザ4日目／すり傷／ワックスを使った傷メイク／ペイントによる火傷メイク(Ⅰ度熱傷)／ワセリンとオブラートによる火傷メイク(Ⅲ度熱傷)
2	死人メイク／傷ワックスの応用メイク②	ペイントによる死人メイク／ワックスを使った銃創メイク／縫合メイク／裂傷メイク
3	老けメイク／傷メイク③	シミ・小ジワ・大ジワ・たるみ・コケ・白髪 老化を表現／殴られてケガした人の顔メイク
4	中間試験	老けメイク(フルメイク40分)
5	火傷メイク②	ゼラチンを使った水疱メイク(Ⅱ度熱傷)／ラテコットンによる火傷メイク(Ⅲ度熱傷)
6	ゾンビメイク	老け・痣・火傷・傷・死人メイク・ラテックス・汚しを組み合わせるゾンビを表現する
7	定期試験	ゾンビメイク(フルメイク50分)
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	デザインヘアメイク design hairmake	年次	2	実務経験	担当	高岸
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科	ヘアメイク科	単位	4			曜日・時間
講師紹介	20年以上のキャリアを持ち、メイク・ヘアセット・特殊メイクまで幅広く手がける。化粧品メーカーのインストラクター、美容スクール講師を経て30歳で独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍。クリエイター系の株式会社の経営やコスプレ関連事業にも携わり、国内外で活動の幅を広げている。					
目的 科目概要	基礎を応用し、撮影現場で活かせる独創的なヘアメイクを創出できる力を養う。メイクとヘアを総合的に構築し、クリエイティブ作品として表現する。					
到達目標	メイクアップのデザイン力を向上させるための基礎的なトレーニングを行う。形・色・質感のバランスを理解し、自由な発想でメイクデザインを構築できる力を養う。また、トレンドやテーマに沿ったデザインを作成し、実際のメイクアップに応用できるスキルを身につけることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材	メイク道具一式・iPad					
特記事項	必ずiPadを用意する					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・クリエイティブメイク概論	・アートとファッションにおけるヘアメイクの役割 ・海外/国内のアーティスト作品リサーチ
2	質感で魅せるメイク(マット・グロウ・異素材感)	・皮膚の質感を超える表現(箔・グリッター・ラメ・マット粉体など)
3	色彩で遊ぶメイク①(カラー理論の解体)	・補色・原色・ネオンカラーの大胆な配置
4	色彩で遊ぶメイク②(グラデーション・ペインティング)	・顔をキャンバスとして扱うペイント手法
5	構造で魅せるメイク(ライン・シェイプ・シンメトリー/アシメトリー)	・アイライン、フェイスペイントによる造形表現
6	異素材コラージュメイク	・羽根・布・金属・プラスチックなど、顔に異素材を組み込んだ実験的メイク
7	中間試験(テーマメイク実技)	・「〇〇×ビューティー」など抽象テーマでのメイク実践
8	ヘアテクスチャーデザイン	・髪の質感を操作(濡れ感、マット、束感、編み込みの分解)
9	ヘアデザイン①(神秘的)	・「神秘的」などテーマでのメイク実践
10	造形的ヘアデザイン②(未来的)	・「未来」をテーマにメイク・ヘア実践
11	造形的ヘアデザイン③(カラフル)	・カラフルなどを組み込んだデザイン
12	メイク×ヘアの融合①(コンセプト立案)	・テーマに基づいたビジュアルプランを企画・スケッチ化
13	メイク×ヘアの融合②(実技リハーサル)	・モデルに試作、色・質感・フォルムの最終調整
14	作品制作・撮影実習	・衣装・小道具を合わせ、クリエイティブ作品を撮影
15	期末試験(作品発表・講評会)	・作品発表、プレゼン、講評 ・ポートフォリオ化、次のステップに向けた指導

科目名 (英)	アイデザイン eye design	年次	2	実務経験	担当	畑 智香 西村 菜
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	前期
学科	ヘアメイク科	単位	2			
講師紹介	アイ業界の最前線で活躍をするアイビューティー協会所属アイリストが授業を行う。					
目的 科目概要	アイビューティー（エクステ、パーマ、アイブロウ）の基礎知識や技術に加え、カウンセリングやサロンワークなど幅広く学び、卒業と同時に即戦力となるスキルを学びます。					
到達目標	アイビューティーの知識や技術を正しく身につけ、モデルに合ったデザインのご提案ができる。 サロンワークができるようになり現場で即戦力となるスキルが身に付く。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を 不合格とする。( ) ■筆記試験 ■実技試験 □作品 □提出課題					
教科書			事前事後 学習と その内 容	授業内で持ち物をお伝えします。 忘れ物がないよう準備してください。		
教材	ツイザー2本、つけまつ毛					
特記事項						

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	まつげエクステーションとは	アイビューティーの歴史や道具の使い方について
2	実技①	ウィッグを使用したエクステ装着練習（基礎）
3	実技②	ウィッグを使用したエクステ装着練習（デザイン別装着）
4	トレンド施術	最新技術（LED装着・ポリウムラッシュ）を体験
5	サロンワーク（学外実習）	アイモデルでカウンセリングを行う
6	サロンワーク（学外実習）	来店～退店までの一連の流れを学び、ロープレを行う
7	定期試験	相モデルでカウンセリングをし、ご要望に合わせたデザインのエクステをウィッグに装着。
8	まつげエクステーションとは	アイビューティーの歴史や道具の使い方について
9	実技①	ウィッグを使用したエクステ装着練習（基礎）
10	実技②	ウィッグを使用したエクステ装着練習（デザイン別装着）
11	トレンド施術	最新技術（LED装着・ポリウムラッシュ）を体験
12	サロンワーク（学外実習）	アイモデルでカウンセリングを行う
13	サロンワーク（学外実習）	来店～退店までの一連の流れを学び、ロープレを行う
14	定期試験	相モデルでカウンセリングをし、ご要望に合わせたデザインのエクステをウィッグに装着。
15		

科目名 (英)	アシスタントプログラムⅢ Assistant program Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	佐藤直雅
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	集中授業
講師紹介	数多くの現場経験を持ち、多くのヘアメイクを輩出していた教員が、最新の現場で必要とされるアシスタント業務を具体的に説明する。					
目的 科目概要	業界理解と作品撮りにより自己表現					
到達目標	業界を理解し、作品を通して、自己表現できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	JESCテキスト 他 資料			事前事後 学習と その内容		
教材	メイク道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	業界講話	TV業界について
2	業界講話	出版業界について
3	業界講話	音楽業界について
4	業界講話	ドラマ・映画業界について(座学)
5	撮影①	作品撮影について(座学)
6	撮影②	撮影実習プレゼン(座学)
7	まとめ	ヘアメイクの就職活動について(座学)
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	実習前教育	年次	2	実務経験	担当	南本 和幸
		授業形態	講義			
(英)	education for pre practical	時間数	30	有	開講区分	前期
学科	ヘアメイク科	単位	2		曜日・時間	集中授業
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	実習・インターンシップへ向けて、業界研究・面接指導等を行い、実習の目的・目標を明確にする。					
到達目標	目的、目標を明確にし、実習・インターンシップに参加する準備ができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。 ■ 筆記試験					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	実習・インターンシップとは	実習・インターンシップの概要を理解する。
2	実習生の役割と心構え 1	実習ルールを確認し、スムーズに実習を送れるようにする。
3	実習生の役割と心構え 2	接客業としての心構えとプロ意識を学び 専門職として必要な資質を
4	業界研究①	実習から就職への流れを理解し、方法を学ぶ
5	業界研究②	就職の調べ方を学び、業界の知識を深めることができる
6	身だしなみ・マナー・言葉遣い 1	社会人としての服装・清潔感の重要性 敬語や丁寧な話し方の習得
7	身だしなみ・マナー・言葉遣い 2	笑顔とアイコンタクト ロールプレイ
8	中間試験	ここまでの活動を振り返る
9	エントリーシート・履歴書 1	エントリーシート・履歴書を作成する
10	エントリーシート・履歴書 2	エントリーシート・履歴書を完成させる
11	面接練習 1	採用試験に向けて面接練習を行う
12	面接練習 2	採用試験に向けて面接練習を行う
13	面接練習 3	採用試験に向けて面接練習を行う
14	実習前の最終確認	実習の目標設定 所作・言葉遣いのチェック
15	振り返り・自己評価	実習前教育を振り返り、実習へ向けて自己評価を行う

科目名	現場実習Ⅰ	年次	2	実務経験	担当	南本 和幸
		授業形態	演習			
(英)	field training	時間数	120	有	開講区分	前期
学科	ヘアメイク科	単位	8		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められることを理解し、実習の目的・目標を明確にする。					
到達目標	実習の目的・意義を理解し、実習へ向けての目標設定をする。					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS（合格）、U（不合格）とする。					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に着けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	現場実習先を理解する	オリエンテーションの内容を理解し業務を行う準備をする
2	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	実習面談	これまでの実習を振り返り、課題を明確にし 今後の目的を再設定する
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	現場実習 II	年次	2	実務経験	担当	南本 和幸
		授業形態	演習			
(英)	field training	時間数	120	有	開講区分	前期
学科	ヘアメイク科	単位	8		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	美容師・ヘアメイク業界に従事してきた講師が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接客やお客様対応の基礎を学ぶ					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接客やお客様対応の基礎を身に付ける					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS（合格）、U（不合格）とする。					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に着けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名 (英)	現場実習Ⅲ field training	年次	2	実務経験	担当	南本 和幸
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	120	有	開講区分	前期
		単位	8		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	美容師・ヘアメイク業界に従事してきた講師が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応の基礎を学ぶ					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応の基礎を身に付ける					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS（合格）、U（不合格）とする。					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容		スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。		
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に付けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ Career Development Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	南本和幸
		授業形態	講義			
学科	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2			
講師紹介	美容業界に従事してきた教員が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書						
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	社会人基礎力を身につける	社会人に必要なマナーを身につける。 冠婚葬祭
2	社会人基礎力を身につける	社会人に必要なマナーを身につける。 テーブルマナー
3	社会人基礎力を身につける	社会人に必要な知識を身につける。 税金、保険、年金
4	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にする。
5	グループディスカッション	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける。
6	グループディスカッション	グループディスカッションで自分の立ち位置や、どうすれば印象に残せるか学ぶ。
7	中間試験	前期を振り返り後期に向けての目標を明確にする。 社会人マナーの筆記テスト
8	社会人基礎力を身につける	伝える力、読み取る力を学ぶ。
9	グループディスカッション	お互いの意見を尊重し、グループで意見をまとめる。
10	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。 上座・下座
11	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。 電話対応
12	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にする。
13	自分の強みについて考える	認知特性を使って自分の得意なことを知る。得意なことをどのように強みに変えていくかを考える。
14	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
15	定期試験	学んだ社会人基礎力が定着しているかの確認を行い、卒業後の過ごし方を考える。

科目名 (英)	ヘアメイクⅢ Hair make up Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	高岸
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	月1.2.3.4
講師紹介	20年以上のキャリアを持ち、メイク・ヘアセットまで幅広く手がける。外資系アーティストを経験後に独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍、ヘアメイク事務所の経営や教育を中心に活躍中□					
目的 科目概要	基礎を応用し、撮影現場で活かせる独創的なヘアメイクを創出できる力を養う。メイクとヘアを総合的に構築し、クリエイティブ作品として表現する。					
到達目標	メイクアップのデザイン力を向上させるための基礎的なトレーニングを行う。形・色・質感のバランスを理解し、自由な発想でメイクデザインを構築できる力を養う。また、トレンドやテーマに沿ったデザインを作成し、実際のメイクアップに応用できるスキルを身につけることを目的とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材	メイク道具一式・iPad					
特記事項	必ずiPadを用意する					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	エレメントデザイン①	火・水・雷・風・地など自然テーマとしてデザインを作成
2	エレメントデザイン②	デザインと構成をブラッシュアップし完成させる。
3	エレメントデザイン③	前回と別の火・水・雷・風・地など自然テーマとしてデザインを作成
4	エレメントデザイン④	デザインと構成をブラッシュアップし完成させる。
5	ハロウィーンデザイン①	ハロウィーンをテーマにデザインを作成する。
6	ハロウィーンデザイン②	ハロウィーン作品を完成させる。
7	中間試験	クリエイティブな作品提出
8	広告①	クリエイティブなヘアメイクアップアーティストは、ファッションショー、雑誌の表紙、映画、CMなどのプロジェクトで重要な役割を果たしています。CM広告を作成
9	広告②	コレクションをイメージした広告を作成。
10	コスプレ①	アニメや漫画、ゲームなどのキャラクターを再現するために、メイクアップ・ウィッグをデザインします。
11	コスプレ②	アニメや漫画、ゲームなどのキャラクターを再現するために、メイクアップ・ウィッグを実習する。
12	アニマルデザイン①	アニマルをテーマにデザインを作成
13	アニマルデザイン②	デザインと構成をブラッシュアップし完成させる。
14	12星座デザイン①	12星座をテーマにデザインを作成
15	期末試験	12星座をテーマに作品制作

科目名 (英)	スチールヘアメイクⅢ Still Hair MakeⅢ	年次	2	実務経験	担当	固本
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	水曜日1.2.3.4限
講師紹介	動画・スチール撮影など幅広い現場でヘアメイクを担当している現役のヘアメイク教員が、現場で必要とされる知識や技術を分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい。					
目的 科目概要	テーマに合わせたコンセプト、ヘアメイクを自分で考えてコンセプトシートにまとめ、オリジナルティーを追及する。					
到達目標	テーマに合わせて自分でヘアメイクのデザインを考えて、作品に落とし込むことができるようになる。 多様な撮影環境でも対応できるヘアメイク技術を身につける。 クオリティ向上の繊細な技術を習得し作品を残す。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材	デザイン画のプリント配布					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	テーマに合わせたヘアアレンジ①	テーマに合わせたヘアアレンジをメインとした作品を制作する(メイクはポイントのみ)
2	テーマに合わせたヘアアレンジ②	テーマに合わせたヘアアレンジをメインとした作品を制作する(メイクはポイントのみ)
3	SDG's(エスディーゼーズ)を考える①	SDG'sの開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートにまとめて完成させる(1～9までのカテゴリーで決める)
4	SDG's(エスディーゼーズ)を考える②	SDG'sの開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートにまとめて完成させる(10～17までのカテゴリーで決める)
5	SDG's(エスディーゼーズ)を考える③	SDG'sの開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートにまとめて完成させる(1～17までのカテゴリーで決める)
6	中間試験対策	中間試験に向けた準備・対策授業
7	中間試験(1回目)	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
8	中間試験(2回目)	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)
9	トレンド(グループ制作①)	2026年のトレンドをテーマにグループで制作する(ヘア担当・メイク担当・モデル担当)
10	トレンド(グループ制作②)	2026年のトレンドをテーマにグループで制作する(ヘア担当・メイク担当・モデル担当)
11	JAPANENE 個人制作①	日本文化の特徴と表現方法を個人で制作する
12	JAPANENE 個人制作②	日本文化の特徴と表現方法を個人で制作する
13	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業 ヘアメイクのテスト・準備
14	定期試験(1回目)	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
15	定期試験(2回目)	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)

科目名 (英)	フェイシャルエステ Facial Esthetics	年次	2	実務経験	担当	山田 優子
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	1組(火3・4限) 2組(火限1・2)
講師紹介	エステティシャンとして20年間に渡りフェイシャルケア、ボディケア等、様々な美容サービスを提供してきました。授業では心身を癒し肌やボディラインを整える為のノウハウを丁寧にお伝えしてゆきます。生活に役立つセルフケアの方法や、美容の基礎知識を提供する。					
目的 科目概要	スキンケアの重要性と皮膚のしくみ、身体のしくみについて学ぶ。 エステティックにおけるフェイシャルクレンジング、フェイシャルマッサージ、リフレクソロジー等、エステティック市場で人気の高い技術を習得する。					
到達目標	皮膚や心身のしくみについて理解し、フェイシャルケア、ボディケアが出来るようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	無(プリント配布)			事前事後 学習と その内容	毎回の授業テーマと概要を理解して授業に参加する事。	
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業の授業内容を復習し、配布プリントは保管する事。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	エステティックとは/セッティング&肩のマッサージ	エステティックの基礎知識を学ぶ。 セッティング、消毒、清掃法。肩マッサージの実践。
2	ホメオスタシスとストレス/フットマッサージ	ホメオスタシスとストレスについて学ぶ。 フットマッサージの実践。
3	エステカウンセリング/ハンドマッサージ	エステティックカウンセリングについて学ぶ。 ハンドマッサージの実践。
4	ヘッドマッサージとは/ヘッドマッサージ	ヘッドマッサージについて学ぶ。 ヘッドマッサージの実践。
5	リフレクソロジーとは/リフレクソロジー	リフレクソロジーについて学ぶ。 フットリフレクソロジーの実践。
6	皮膚の仕組みと働き/ハンドスクラブ	皮膚のしくみと働きの基礎知識を学ぶ。 ハンドスクラブの実践。
7	中間試験(筆記)/ハンドマッサージ技術 チェック	6回までの講義の理解度を確認する。 ハンドマッサージの技術力を確認する。
8	ホットストーンとは/ホットストーンセラピー	ホットストーンについて学ぶ。 ホットストーンセラピーの実践。
9	フェイシャルケアの基礎/クレンジング	フェイシャルケアの基礎やトリートメントの流れについて学ぶ クレンジングとホットタオル拭き取りの実践。
10	フェイシャルマッサージとは/リンパフェイシャルケア①	フェイシャルマッサージに役立つ知識を学ぶ。 リンパフェイシャルケアの実践。
11	フェイシャルマッサージとは/リンパフェイシャルケア②	フェイシャルマッサージに役立つ知識を学ぶ。 リンパフェイシャルケアの実践。
12	フェイシャルマッサージとは/リンパフェイシャルケア③	フェイシャルマッサージに役立つ知識を学ぶ。 リンパフェイシャルケアの実践。
13	リンパフェイシャルケアの復習/ウッドランプ	リンパフェイシャルケアの復習。ウッドランプの実践
14	リンパフェイシャルケアの復習/ローションパック	リンパフェイシャルケアの復習。ローションパックの実践
15	定期試験(実技)	14回までの講義の理解度を確認する。【リンパフェイシャルケア】

科目名 (英)	卒業制作	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	水1~2限/水3~4
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任、ここでは2年間学んだ内容の集大成としてヘア・メイクを中心としたビジュアル作品制作を行う。					
目的 科目概要	本授業では、ヘア・メイクを中心としたビジュアル作品制作を行う。前半6回では、7つの視点(造形・色彩・素材・世界観構築・ガーリー・ナチュラル・SNSモード)から代表的なクリエイターの作品分析を通じて、表現の構造と技法を研究する。後半では、各学生が自らテーマを設定し、デザイン画・世界観ボード・スタイリング・小物制作などのクリエイションプロセスを経て、最終的に“1枚の写真作品”として完成させる。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多様なヘア・メイク表現を分析し、特徴を言語化できる</li> <li>●代表的なクリエイターの世界観・技法を理解し、自身の作品制作に応用できる</li> <li>●作品テーマを設定し、デザイン画・世界観ボードを作成できる</li> <li>●衣装・小物・背景を含む総合的なビジュアル設計ができる</li> <li>●ヘア・メイク・スタイリングを統合し、フォト作品として成立させる</li> <li>●完成作品を意図とともに説明できる</li> </ul>					
評価方法	<p>学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。</p> <p><input type="checkbox"/> 筆記試験    <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験    <input type="checkbox"/> 作品    <input type="checkbox"/> 提出課題</p>					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容			
教材	学校指定のメイク教材					
特記事項	7回目と14回目の授業時に課題の提出をしていただきます。					

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・世界観構築の基礎	・卒業制作の流れ・評価説明7つの表現領域の概要 ・写真作品としての世界観の考え方・プロ作品の構造(色・形・素材・光・モデル)
2	造形前衛・色彩前衛の分析と技法抽出	・加茂克也・Isamaya Ffrench の造形分析 ・Alex Box・Andrew Gallimore の色彩構造分析 ・小演習:異素材 or 色面のワンポイント制作
3	ガーリー造形・日本的ミニマル分析と抽出	・宮森隆行/KANAKO(ガーリー) ・UDA/加茂克也(ミニマル) ・小演習:編み込み or ミニマル異素材構成
4	ナチュラル×フォトリアル	・Lucia Pieroni/Hiromi Ueda の質感構築 ・肌の光/影とフォトでの写り ・小演習:質感のポイント制作
5	SNS × 現代モード	・Kanakano Takase/Yadim の表現分析 ・SNSとEditorialの違い ・小演習:SNS向けポイント作品
6	世界観構築(Art Direction)・領域総括	・Peter Philips/Lucia Pica の世界観設計/衣装・小物・背景の役割 ・7領域の比較と総まとめ ・中間試験に向けた総復習
7	中間試験	
8	テーマ設定・方向性の決定	・テーマの作り方・作品の核(物語/質感/色)を決める ・必要素材の収集・宿題:テーマ文章+画像収集
9	世界観ボード(Moodboard)完成	・世界観の方向性を確定・使用色・素材・背景案 ・モデルの印象・小物案を絞る
10	デザイン画(ヘア・メイク・衣装)	・顔面構成・ヘアシルエット・色彩設計(配色) ・衣装の方向性・宿題:デザイン画完成
11	スタイリング構築・小物制作	・布や異素材を使った小物制作 ・衣装の調整 ・ヘアメイクの事前練習
12	模擬撮影(テストショット)	・光の当て方・ヘア・メイクの写り方確認 ・構図・背景の最終調整 ・本番撮影に向けた制作の仕上げ
13	作品リハーサル(本番前調整)	・モデル入り想定での通し作業 ・髪・肌・小物の最終確認 ・本番の段取り練習
14	作品撮影	・ヘア/メイク本番 ・衣装・小物・背景のセット ・撮影・写真選定
15	定期試験(作品プレゼン・講評)	・完成作品の発表・世界観と意図のプレゼン ・全体講評・評価・優秀作品選出

科目名 (英)	美容総合技術 Beauty Practice	年次	2	実務経験	担当	永山 豊
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	1組火1・2限 2組火3・4限
講師紹介	表参道をはじめとした東京、千葉、札幌に10店舗展開しているサロンのマネージャー。人事としても活動し、リクルートセミナーや外部講師としても活躍している。					
目的 科目概要	目的:シャンプーブロー、スタイリング技術の習得。 概要:基礎技術向上に加え、美容職としての心構えやプロ意識、ホスピタリティを学ぶ					
到達目標	ゲストに求められる技術を提供でき、コミュニケーションがとれる。 生徒自身がそれぞれイメージを固め、具現化できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。 なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	ケープ、タオル、ブラシ、ドライヤー、スタイリング剤					
特記事項						

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・技術展示	授業の趣旨を把握する。シャンプーの目的手順を理解する。
2	シャンプードライ実習	相モデルでのシャンプー、ドライの展示を練習を行う。
3	シャンプードライ実習	相モデルでのシャンプー、ドライの展示を練習を行う。手順の再確認。
4	シャンプードライ実習	クオリティを重視したシャンプードライの練習を行う。
5	シャンプーブロー実習	タイムを重視したシャンプー、ブロー展示と練習を行う。
6	シャンプーブロー実習	相モデルでシャンプー、ブロー手順の再確認し、練習を行う。
7	中間テスト	相モデルでのシャンプーの実技試験を行う。ブローの練習。
8	シャンプー、ブロー実習	シャンプー、ブローの手順を再確認しクオリティを重視する。
9	シャンプー、ブロー実習	相モデルでのシャンプー、ブロー練習をタイムを重視して行う。
10	シャンプー、ブロー、スタイリング実習	スタイリング展示を相モデルで行う。相モデルでシャンプー、ブロー練習を行う。
11	シャンプー、ブロー、メンズスタイリング実習	ウィッグを使いメンズの基本スタイリング展示と施術を行う。
12	シャンプー、ブロー、カラー操作実習	相モデルでブローとスタイリングを行う。カラーの塗布展示を行う。
13	シャンプー、ブロー、スタイリング実習	タイムを重視したシャンプー、ブロー練習。スタイリングを相モデルで行う。
14	シャンプー、ブロー、カラー操作実習	タイムとクオリティを意識したシャンプー、ブロー練習。 カラー操作を相モデルで実施する。
15	期末テスト	相モデルでのシャンプー、ブローの実技試験を行う(タイム40分)

科目名 (英)	パーソナルカラー I	年次	2	実務経験	担当	高橋 名都紀
	Personal color I	授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2		曜日・時間	金曜日 1・2限
講師紹介	カラーリスト歴：15年。個人サロンを立ち上げ、パーソナルカラー診断・骨格診断・顔タイプ診断、メイクアドバイスを年間500名以上の方へアドバイスを行っている。個人だけでなく、企業、行政、学校などでパーソナルカラーセミナーや色彩セミナーを年間数十回担当、色彩に関する知識だけでなく、みなさんの色感やスキルアップ、ファッション&メイクセンスアップにつながるような実践的な授業を行う。					
目的 科目概要	目的：似合う色を活用するポイントを学ぶことで、TPOに合わせた自分の魅せ方(自分ブランディングの仕方)を学ぶ。 概要：パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎、そのもとになる色彩学の基礎を習得する。 自分自身の似合う色を実習の中で学んでいく。					
到達目標	パーソナルカラー(自分に似合う色)を見極める過程と、客観的に自分にはどのような色が似合うかを学ぶ。色を活用しながら「自分らしさ」を生かすスキルを習得し、自己表現ができ、自分に自信を持ち、自己表現の幅を広げられるようになる。 ○パーソナルカラー検定3級(2026年度夏季)の合格することができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 □実技試験 □作品 ■提出課題					
教科書	色彩活用パーソナルカラー3級公式テキスト		事前事後学習と その内容 授業の進行に合わせて、必要がある場合は検定対策として、ホームワークとして課題、復習、問題集、プリントの課題を実施いたします。 もし授業を欠席した場合は、授業の要点をまとめたものをTeamsにアップロードするので、必ず確認しましょう。(復習として使用可○)			
教材	新配色カード199a、PCCストーン別色相環、公式問題集					
特記事項	【カラーワーク】がある日は、必ず「はさみ、のり」を持参してください。					

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション パーソナルカラーと自分ブランディングについて	授業のオリエンテーション パーソナルカラー(似合う色)を知ることのメリットと概要を理解する。【カラーワーク】
2	色の三属性(色相、明度、彩度)	色彩の基本である色の三属性(色相、明度、彩度)を学ぶ。
3	トーン(色の調子)	トーンの考え方や仕組みを理解する。 身の周りの色や指定された色をトーンでとらえられるように、慣れる。
4	パーソナルカラーの色分け 4シーズンのカラーパレット	パーソナルカラーの色分け【カラーワーク】 4シーズンの色の特徴を見分け、色分類ができるように、色感を磨く。
5	色素の見分け方 色素チェック	生まれながらに持った色素(肌、髪、眼の色と質感)の特徴の見分け方のポイントと、色素と似合う色の関係性を学ぶ。自分はどんな色素を持っているのかを確認する。
6	中間試験 ドレーピングの仕方	20問/20点満点 選択問題 ドレーピングによる似合う色の見つけ方をおさえ、実習に備える。
7	ドレーピング実習①	ドレーピングによるパーソナルカラー診断の実習 グループに分かれ、ドレーブを比較しながら、お互いの似合う色を確認する。
8	ドレーピング実習②	ドレーピングによるパーソナルカラー診断の実習 グループに分かれ、ドレーブを比較しながら、お互いの似合う色を確認する。
9	似合う色の取り入れ方	4シーズンの似合う色の取り入れ方(ファッション、メイク、アクセサリー、柄、素材) 似合わない色の見え方も確認する。
10	対比 色名	色による顔色の見え方の変化を理解する。 系統色名と慣用色名の色の名前の使い分けのポイントを学ぶ。
11	反射・吸収 色と光	色はなぜ見えるのか?色と光の関係性を学ぶ。 検定に備えて過去問題を解き、問題に慣れる。
12	テスト対策	総復習。 期末試験・検定試験に備えて過去問題を解き、問題に慣れる。
13	期末試験(模擬試験)	89問/50点満点 選択問題 検定に備えて過去問題を解き、問題になれる。
14	期末試験 解説	間違えやすい問題、検定に出やすいポイント、覚えるところを確認する。
15	パーソナルカラー検定	試験時間: 60分 問題数: 89問 形式: マークシート 合格ライン: 80%

科目名 (英)	現場実習Ⅳ field trainingⅣ	年次	2	実務経験	担当	南本 和幸
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	120	有	開講区分	後期
		単位	8		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接客やお客様対応・提案の基礎を学ぶ					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接客やお客様対応・提案の基礎を身に付ける					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS（合格）、U（不合格）とする。					
教科書	Hand-book of Life Style		事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。		
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に付けよう）					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名 (英)	現場実習 V field training V	年次	2	実務経験	担当	南本 和幸
		授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	120	有	開講区分	後期
		単位	8		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接客やお客様対応・提案を実践する					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接客やお客様対応・提案を実践できる					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS（合格）、U（不合格）とする。 ■					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に着けよう）					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名 (英)	現場実習VI	年次	2	実務経験	担当	南本 和幸
	field trainingVI	授業形態	演習			
学科	ヘアメイク科	時間数	120	有	開講区分	後期
		単位	8		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接客やお客様対応・提案を総合的に実践する					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接客やお客様対応・提案を総合的に実践できる					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS（合格）、U（不合格）とする。					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に付けよう）					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名 (英)	実習後教育 education post practical training	年次	2	実務経験	担当	南本 和幸
		授業形態	講義			
学科	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	集中授業
講師紹介	美容師・ヘアメイク業界に従事してきた講師が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	実習・インターンシップの経験を自身の立てた目的・目標に対して振り返り・課題と対策・行動計画を立案する					
到達目標	就職を控え、実習・インターンシップの経験を言語化し今後の課題を明確にする。 自身の課題に対して対策・行動計画を立てられる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に着けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1・2	実習振り返り 1	実習で得た経験を振り返り、言語化する
3・4	実習振り返り 2	実習で得た経験を振り返り、言語化する
5・6	実習振り返り 3	実習で得た経験を言語化し発表する準備をする
7・8	実習振り返り 4	実習で得た経験を言語化し発表する準備をする
9・10	実習振り返り 5	実習で得た経験を言語化し発表する準備をする
11・12	実習振り返り 6	実習で得た経験を言語化し発表する準備をする
13・14	中間試験	実習で得た経験を言語化し発表する
15・16	目標の再設定	就職後の目標を再設定する
17・18	自身の課題は？	就職に備え自身の課題を明確にする
19・20	課題を克服するには？ 1	課題に対しての対策を検討する
21・22	課題を克服するには？ 2	課題に対しての対策を検討する
23・24	行動計画を考える 1	課題克服に向けての行動計画を検討する
25・26	行動計画を考える 2	課題克服に向けての行動計画を検討する
27・28	行動計画をまとめる	実習の経験から課題・対策・行動計画をまとめ発表の準備をする
29・30	期末試験	実習の総括をまとめ発表する